

2025年4月8日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ダ イ セ キ
代表者の役職・氏名 代表取締役社長 山本 哲也
(コード番号 9793 東証プライム・名証プレミア)
問い合わせ先 常務執行役員企画管理本部長 片瀬 秀樹
(電話番号 052-728-1155)

国連グローバル・コンパクトへの署名について

株式会社ダイセキは、国際連合が提唱する「国連グローバル・コンパクト」※1（以下UNGC）に署名し、2025年4月4日(金)に参加企業として登録されました。併せて、UNGCに署名する日本企業などで構成される「グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン」に加入しました。

※1. UNGCについて

国連と民間（企業・団体）が手を結び、健全なグローバル社会を築くための世界最大のサステナビリティ・イニシアチブです。UNGCに署名する企業・団体は、「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」に関する10原則※2に賛同し、企業・団体のトップ自らのコミットメントのもと、その実現に向けて努力を継続することが求められています。

- UNGC サイト
<https://unglobalcompact.org/>
- グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン サイト
<https://www.ungcjp.org/index.html>

※2. 国連グローバル・コンパクトの4分野10原則について

人権	
原則 1	企業は、国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重すべきである
原則 2	企業は、自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである
労働	
原則 3	企業は、結社の自由と団体交渉の実効的な承認を支持すべきである
原則 4	企業は、あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持すべきである
原則 5	企業は、児童労働の実効的な廃止を支持すべきである
原則 6	企業は、雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである
環境	
原則 7	企業は、環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持すべきである

原則 8	企業は、環境に関するより大きな責任を率先して引き受けるべきである
原則 9	企業は、環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである
腐敗防止	
原則 10	強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである

➤ ダイセキグループのサステナビリティ活動

ダイセキグループは、「限られた資源を活かして使う『環境を通じ社会に貢献する環境創造企業』」をパーソナリティとして、社会課題の解決に取り組んできました。これからも持続可能な社会構築に貢献しながら企業としての価値向上に取り組んでいきます。

- ・ ダイセキのサステナビリティ活動

<https://www.daiseki.co.jp/sustainability/>

以上